

## 「特別の教科 道徳」指導研修会から

道徳の教科化に向けて、『特別の教科 道徳』指導研修会」を今年度の新規研修として開講しました。8月2日（水）八尾コミュニティセンターにて、上越教育大学大学院 教授 早川裕隆先生をお迎えし、「今求められている道徳の在り方～『特別の教科 道徳』で何をどう学ぶのかを中心に～」と題して、講義と演習をしていただきました。主題とねらいを明確にすることの大切さや、ねらいが具体化されるとそれが評価にもつながること、役割演技をすることで「実感」による理解が生まれること等を教えていただきました。

受講者からは、「子どもの心の変化への気づきや、気づきの質を高め、いくやりとり、それを支援する教師の役割について学ぶことができた」「役割演技は、演じる子どもたちだけでなく、その演技を見守る観客側の子どもたちに、問い返しを工夫することで、全体が考えることにつながると実感した」などの感想が聞かれ、これからの道徳の授業づくりへのヒントを得ることができたようです。



<早川教授の講義>



<役割演技の演習>

## 小学校教員海外語学研修事業

平成 27 年度に始まった「小学校教員海外語学研修事業」は、今年で3年目を迎えました。地域の中心となる英語教育推進リーダーの育成、中核教員等を中心とした指導体制の強化を図るため、オーストラリアのバルコムグラマースクールに小学校教員2名を派遣し、授業の参観や実習、ホームステイを通して、英語運用能力と指導力の向上を目指しています。

今年度は、大広田小学校の谷口貴子教諭と東部小学校の海村由紀教諭が約1か月の研修を行いました。2人は日本語の授業の一部を担当し、現地の小学生に日本語指導を行いました。その実践を通して、「聞くこと」の指導の大切さや発音指導の難しさを実感したようで、今後の外国語活動の授業実践に生かしていきたいと、教育長へ研修修了報告を行いました。

11月に、外国語活動公開授業研修会及び研修報告会が大広田小学校で行われました。授業後の協議会では、来年度の授業を視野に入れた話合いが活発に行われました。3学期にも東部小学校で研修会及び報告会が行われますので、ぜひご参加ください。



<谷口教諭の授業の様子>



<海村教諭の授業の様子>



<教育長室での研修修了報告会>